

と さ れ き し 奈半利町と土佐の歴史

時代	年代		おもなことから
弥生	2000 年くらい前		洪水のおそれのない四手井の岡あたりに人々が住みはじめた。安芸市や田野町、芸西村にも遺跡がある。
古墳			安田町に大木戸古墳群がある。安芸市井ノ口に一宮古墳がある。
奈良	710 年	和銅 3 年	奈良に都（平城京）ができる。
	718 年	養老 2 年	野根山越えの道が官道に指定される。
	741 年	天平 3 年	土佐国分寺が建てられる。このころコゴロク廃寺が建てられる。
平安時代	794 年	延暦 13 年	京都に都（平安京）が移される。
	807 年	大同 2 年	弘法大師（空海）が室戸に最御崎寺、金剛頂寺を開く。
	927 年	延長 5 年	「延喜式」に多気神社・坂本神社の名がみえる。
	931 年	承平年間	「倭名類聚鈔」に土佐は 43 の郷に分かれており、奈半郷がみえる。
	935 年	承平 5 年	紀貫之が京に帰る途中「なわのとまり」に泊まる。
鎌倉	1192 年	建久 3 年	源頼朝が、征夷大將軍になる。
	1223 年	貞応 2 年	土御門上皇、野根山街道の岩佐の関所で清水を愛でる。
室町	1467 年	応仁元年	応仁の乱で京都は焼け野原 戦国時代の奈半利には、岡城・北岡城・奈半利城（今の奈半利小学校にあったらしい）の 3 つの城があった。
安土桃山	1574 年	天正 2 年	長宗我部元親が安芸郡東部を攻め、安岡出雲守は城を明け渡し、桑名丹後守が奈半利城主となる。
	1600 年	慶長 5 年	関ヶ原の戦い（桑名太郎右衛門は、西軍の長宗我部盛親に従い参戦する）
	1601 年	慶長 6 年	山内一豊が、土佐入国の途中正覚寺に泊まる。
江戸	1603 年	慶長 8 年	徳川家康が、江戸幕府を開く。
	1605 年	慶長 10 年	大地震で、奈半利に大津波が押し寄せ大災害となる。